

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

湖鳥会会報

第13号 平成24年3月 鳥取大学 工学部 電気電子工学科 同窓会 「湖鳥会」



〈目 次〉

- 学科長あいさつ
- 会長あいさつ
- 電気電子工学科卒業生数
- 教職員からのあいさつ
- 同窓会だより
- 2010年度事業報告・2011年度事業計画
- 2010年度決算報告・2011年度予算報告
- 湖鳥会役員一覧
- 湖鳥会からの連絡

鳥取大学工学部電気電子工学科同窓会

「湖鳥会」事務局連絡先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学 工学部電気電子工学科 気付

電気電子工学科同窓会「湖鳥会」

TEL : 0857-31-5247 FAX : 0857-31-0880

E-mail : sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp mohki@ele.tottori-u.ac.jp

ホームページ <http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp/>

◇学科長あいさつ◇



鳥取大学大学院工学研究科長
情報エレクトロニクス専攻電気電子工学科コース
コース長 李 仕 剛

鳥取大学工学部電気電子工学科は現在、電子情報制御講座、電気電子システム講座、電子物性デバイス講座から構成されており。また、電子情報制御講座は、演算制御工学研究室、情報通信工学研究室、電子素子応用研究室に、電気電子システム講座は、電機電子機器工学研究室、電子回路工学研究室に、電子物性デバイス講座は、電子物理工学研究室、固体電子工学研究室、電子材料工学研究室、光エレクトロニクス工学研究室にそれぞれ分かれております。

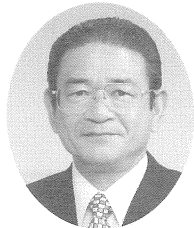
本学科では、電子物性デバイス、電気電子システム、電子情報制御に関する幅広い教育と研究を行って参りました。教育に関しては、人文社会分野、技術者倫理、語学などの教養科目以外に、数学、物理、電磁気、回路などの自然科学の知識と電気電子工学基礎知識に関する科目に加え、プログラミング、電子計算機、制御、電力、電子物性、半導体などの電気電子工学の専門知識・技術に関する科目や、電気電子工学実験、卒業研究などの、工学技術者に必要な問題点の把握・解決能力を養う科目が開設されております。また、本学科は2003年に日本技術者教育認定機構（JABEE）により認定された学科であり、本学科の学生は、所定の単位を修得することで学士（工学）が授与されると同時に、JABEE認定証も授与されます。また、本学科の卒業生は試験に合格すれば、大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コースに進学することが出来ます。

研究に関しては、無線通信、音声信号処理、画像処理、コンピュータビジョン、風力発電、太陽光発電、移動ロボット、マンマシンインターフェース、次世代メモリ、機能性電子材料、半導体光エレクトロニクス、有機半導体などに関する研究が行われております。それらの研究領域は、現代の社会に不可欠であり、その研究成果は社会に大きく貢献することが出来ます。

今、情報技術革命により、世界でグローバル化が進み、あらゆる分野で変化が激しく進み、その競争が厳しくなっています。一方、日本では、少子化と高齢化が進み、国内市場規模が伸び悩むなど、経済が低迷し、苦戦を強いられている業界が多く有ります。これらの問題を解決することは、決して簡単なことではありません。その厳しい状況のなかで、大学で有能な人材を育て、社会に送り出すことが一層求められております。本学科教職員一同は、優れた教育を行い、研究に励み、社会のニーズに応えるよう、より一層努力してまいります所存であります。

最後になりましたが、学生の皆さんにはより一層の努力を期待し、皆様には変わらぬご指導とご鞭撻を賜るよう、お願い申し上げます。

◇会長あいさつ◇



昭和43年（第4期）鳥取大学工学部、電気工学科入学
吉 田 和 行

幸運を予感させる“1”の並びとなった、2011年11月11日の翌日、また国論を二分するかのTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に関しハワ APEC 総会で日本の TPP 交渉参加表明が成された11月12日土曜日に、湖鳥会 Home Coming Day in Tottori 2011～鳥取大学電気電子工学科、46年間の歩みと同窓生の集い～が工学部工学研究科大講堂にて開催されました。

昨年（2010年）の東京、一昨年（2009年）の大阪での総会に次ぐ、今回が第6回目で鳥取では初めての開催でした。プログラムは、在校生の為の先生・先輩よりの各種講演会、卒業生から学科・学部・大学への提言、参加者交流会、懇親会“蟹を食べよう”といった4部構成で丸一日の集りでした。

各地でご活躍のOB各位による示唆に富んだご講演、先生よりの貴重な研究の現状のお話、パネラー、会場一体となった意見交換、最終的には、お酒も入り意義深く交流できました。

開催に際し、事務局の皆様をはじめ、学部、学科の関係者の皆様のご尽力に忠心より御礼申し上げます。わたくし個人的にも、卒業以来40年ぶりに再会する、九州よりの同窓生が来鳥され、カニ懇親会後も大いに交流を深めました。10年ひと昔といいますが、40年ぶりの再会とはかなり貴重で感激的な出会いでした。酔いで朦朧とするなか今後輪を広げもっと多くの同期性に会いたいものだ、何か計画しようと再開を約した次第です。

私たち入学した年は、全国的に学生運動が激しく、あの鳥取大学本部の建物も占拠され、体育館での大学側の連絡集会も開催されるなど、大混乱の日々がありました。卒業直後にはあのオイルショックが襲来し、高度経済成長が終焉を迎え、戦後初めてのマイナス成長となり、景気、就職状況が一変し激動の時代へ突入してゆきました。

積極意見の多かったパネルディスカッションで、就職力を視野に入れた今後の学生への教育研究に対する話し合いもありました。

こうなると最後には鳥取大学の標榜する「人間力」の醸成が避けて通れないものとなります。知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力の5つの構成要素で定義され、大学の教育理念「知と実践の融合」を築き上げるグランドデザインとして実践されています。過去がどうの、現在は、などの単純な比較議論にはならず、やはり最後はそれぞれ学生の個の質を上げるには、といった真剣な議論となりました。

電気電子工学科はJABEEの導入など専門技術教育認定のご努力もあり、比較的進路が決まりやすいとのこと、更に、各地でご活躍、会員数の多くなった湖鳥会OBの皆様のご支援によるところもあろうかと存じます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

また、個人情報保護の観点より、名簿等の個人情報の取り扱いが重要視される昨今ですが、湖鳥会も数千の会員を抱える大所帯となり、今後益々増えてゆきます。そんな状況下全国でご活躍の皆様、ご卒業（定年）された皆様とのコミュニケーションがよりスムーズに取れるよう、ホームページのチェック並びに、会員の皆様の連絡先の変更ありましたら、是非とも忘れず事務局への変更申請、連絡先のご登録を宜しくお願い致します。

多様化する現実社会で、同じ学び舎での同窓といった、青春の一時期の思い出を共有できる仲間の集まりとして、今後50年、100年の歩みへの継続、会員数の増加、大学、会員相互交流の礎としての、湖鳥会の活動の継続・発展を願うものです。

会員の皆様におかれましても、ますますのご活躍、ご発展されますことお祈りいたしております。

○電気電子工学科 在學生（2011年3月10日現在）

工学部 電気電子工学科 在籍学生数：計330名

大学院 工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース（博士前期課程）：計75名

工学研究科情報エレクトロニクス専攻電気電子工学コース（博士後期課程）：計19名

○電気電子工学科 卒業生（2011年4月1日現在）

学部卒業生総数： 3,094名（1969年3月～2011年3月）

旧電気工学科： 934名（1回生：1965年4月入学～24回生：1988年4月入学）

旧電子工学科： 779名（1回生：1968年4月入学～21回生：1988年4月入学）

電気電子工学科： 1,450名（1回生：1989年4月入学～16回生：2007年4月入学）

（このうち、JABEE認定修了者数 534名）

大学院博士前期課程（修士）課程修了生総数：870名（1971年3月～2011年3月）

旧電気工学科： 131名（1回生：1969年4月入学～24回生：1992年4月入学）

旧電子工学科： 173名（1回生：1972年4月入学～21回生：1992年4月入学）

電気電子工学専攻： 501名（1回生：1993年4月入学～14回生：2007年4月入学）

情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学科コース

65名（1回生：2008年4月入学～2回生：2009年4月入学）

大学院博士後期課程 修了生総数：55名（1997年3月～2011年3月）

情報生産工学専攻（電子情報システム講座）修了生総数：53名

（1回生：1994年4月入学～14回生2007年4月入学）

情報エレクトロニクス専攻 電気電子工学コース：2名（1回生：2008年4月入学）

◇ 2011 年度・卒業生の進路 ◇

就職・進学状況

業 種 別	学 部	博士前期	博士後期
電気機械器具製造	3	10	0
建 設	5	2	0
情 報 通 信 業	1	0	1
サ ー ビ ス	2	0	0
一般機械器具製造	8	8	0
その他の製造業	5	10	0
電気・ガス・熱・水道	0	2	0
公務員・教員	3	1	0
その他の企業	0	0	0
そ の 他	4	1	2
進学(専門学校を含む)	38	1	0

就職先(大学院・学部) 求人会社総数 400社

【大学院】 本田技研工業(株)・中国電力(株)・三菱電機(株)・(株)ノーリツ・中西金属工業(株)・日立造船(株)・日立製作所・日本プロセス・関西電力(株)・ケイオプティコム・京セラ・ダイヤモンド電機・シャープ(株)・川崎重工業・東芝ライテック・神栄・三洋電機・大真空・船井電機・住友重機械工業・西部電気建設・今仙電機製作所・スマック(株)・(株)JSP・パナソニックエレクトロニクスデバイスジャパン(株)・三菱重工プラント建設(株)・三洋電機コンシューマエレクトロニクス(株)・日本セラミック(株)・アイシンエイダブリュ・公務員

【学 部】 リコーマイクロエレクトロニクス・ハートネットワーク・グローリー・スズキ・協和エクシオ・双葉電気通信・三菱電機エンジニアリング・本田技研工業・滝川工業・栗原工業・高菱エンジニアリング(株)・寺崎電気産業・きんでん・松藤商事(株)・カネカソーラーテック(株)・福伸電機・ITセミコン(株)・(株)本山合金製作所・三菱電機ビルテクノサービス・トラストテック・日本リーテック・テラサキ伊万里・森通商・公務員

電気電子工学科 公開行事 (平成 22 年)

- オープンキャンパス (8/8)
 - 参加者：約 70 名
 - ・学科の紹介、JABEE 認定校、取得可能な資格
 - ・実験室、研究室見学
- ふれてみる不思議な電気の世界 2010 (8/10)
 - 参加者：小学生 40 名
 - ・午前：見学
(音の実験、超高電圧実験、超伝導実験、静電気実験、家電製品の解体実験)
 - ・午後：工作
(手作りモーター、手作り電球、ブラシ式走行ロボット)
 - ※学長裁量経費による補助事業
- 研究室公開 (10/9)
 - 大学祭に合わせて毎年研究室を公開
- 秋のオープンキャンパス (10/9)
 - 大学祭にて工学部の紹介
- 同窓会 旧友と母校の再会 in Tokyo(11/6)
 - 東京リエゾンオフィス (東京都港区芝浦 3-3-6) パネルディスカッション、懇親会
- 卒業研究発表会 (2011・2/20)
 - 「きなんせ！電気電子の未来 2011」
 - 参加者：全教職員、全研究室配属学生、保護者、一般
 - 場 所：とりぎん文化会館
(鳥取市尚徳町101-5)
 - ・ショートプレゼンテーション (69 名)
 - ・ポスタープレゼンテーション
 - 終了後懇親会 (鳥取大学生協)

◇教職員からのご挨拶◇

「新任の挨拶」



情報エレクトロニクス専攻
電子回路工学・教授

吉 留 健

湖鳥会の皆様、はじめまして。退官なされた小西教授の後を引き継ぎ、2011年4月から電子回

路工学研究室に着任致しました吉留と申します。前職はNTT 研究所で、画像符号化技術や画像圧縮 LSI の研究開発に従事しておりました。現在は、尾崎技術専門職員とともに研究室配属生への研究指導や、講義・演習・実験など通じて学生への教育指導を行っております。電子回路工学研究室には大学院 2 年生が 6 名、大学院 1 年生が 3 名、学部 4 年生が 8 名の計 17 名のフレッシュな人材が現在在籍しております。小西教授が進められてきた移動ロボットや読唇の研究に加え、映像圧縮符号化の研究を日々行っております。次年度以降は符号化ハードウェアの研究も加えたいと考えております。赴任当初に最も不安を感じていたのは学生の就職でした。

昨今の厳しい経済状況のなか、おかげさまで卒業および修了予定の学生が全て就職内定を頂くことができ、ひと安心しているところです。また、担当している科目はシステム LSI 設計特論、電子計算機 I (ハードウェア)、電子回路 I (デジタル) などで、将来のハードウェア設計に通用する技能を学生に与えられるよう、チョークまみれで教壇に立っております。鳥取で生活するのは初めてのため、湖鳥会の皆様には御世話になることが多いと思いますが、ご指導の程よろしくお願いいたします。

「新任の挨拶」



技術職員

宮崎 裕介

この度、技術職員として電気電子工学科の一員に迎えて頂きました宮崎裕介と申します。出身は鳥根県の松江市で、広島大学大学院を卒業し、今年度、鳥取大学に着任致しました。大学時代、学生実験の TA として技術職員の方とともに学生の実験指導をさせて頂いた際、指導した学生から「実験の説明が分かりやすく、興味がわきました。」と言われたことを真に受けて、技術職員という職に興味を持ちました。

鳥取市は松江市と同様、ほんの少し足を延ばせば多くの自然に触れることができる、静かで心安らぐ土地であり、新生活の目新しさと、懐かしさを同時に感じております。

現在は学生実験の指導のほか、電子材料研究室にて磁性材料の構造解析のお手伝いをさせて頂いております。未熟者ですが、様々なことを学び、

吸収することで、学生だけでなく教職員の方々にも頼られ、またそれに応えることのできる存在になりたいと考えております。ご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

「新任の挨拶」



技術職員

南葉 恵美子

湖鳥会会員の皆様、はじめまして。平成 23 年 4 月 1 日より、技術職員として電気電子工学科に着任いたしました、南葉恵美子と申します。鳥根県松江市の出身で、松江工業高等専門学校を卒業し、こちらの方へ赴任しました。

鳥取は鳥取砂丘や大山などの自然に恵まれた土地であり、とても安らげる場所です。近年は、「ゲゲの女房」などのヒットの影響により、観光スポットとしても全国から注目されていますね。私も自分 1 人では発見できない場所でも長年鳥取に住んでいる友人らと足を運んだりすることで、身近なところでも日々鳥取の魅力を感じています。

仕事の面におきましては、研究に携わり、学生の卒業研究支援などが行えるようにしたいと思っております。また、現在は新しい作業に追われている毎日ですが、教員の方々からさまざまな分野の知識を学び、いずれは幅広い目で全体を把握できる職員になれることを目指しております。いろいろとお世話になることがございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

◇同窓会だより◇

関東地区で同窓会開催！

旧友と母校の再会 in Tokyo 2010

～鳥取大学電気電子工学科

45 年間の歩みと未来～

日時：平成 22 年 11 月 6 日 (土)

場所：鳥取大学・東京リエゾンオフィス

(東京都港区芝浦 3-3-6 キャンパスイノベーションセンター 603 号)

一昨年のおりに引き続き、昨年は東京において同窓会を開催いたしました。ご多用にもかかわらず多数の卒業生にご参加いただき、盛況のうちに

終えることができました。

同窓会では以下のような式次で講演会を行いました。●安東 電気電子工学コース長挨拶 ●田中工芸部長挨拶 ●吉田 湖鳥会会長挨拶、●関東支部長挨拶 ●電気電子工学科の教育に関する現状（伊藤教授）パネルディスカッション●電気電子工学科の研究に関する現状（岸田教授）パネルディスカッション ●最近の就職状況と学科の取り組みに関する現状（小西教授）パネルディスカッション ●退職の挨拶（小西教授・立木技術職員・尾崎技術職員）

ご参加いただきました卒業生の皆様並びに教員の皆様に感謝いたします。

（助教 笹岡）

「旧友と母校の再会 in Tokyo 2010～鳥取大学電気電子工学科、44年間の歩みと未来～」に参加して



昭和 61 年度卒業
電子工学科専攻

渡 邊 儀 秀

昨年の 11 月に田町の東京リエゾンオフィスで開催された同窓会に参加しました。

同窓会への参加は初めてでしたが、過去の会報など事前に読むこともなく、当日、会場に行ったわけで、一体、何人の方が出席され、どのような内容だろうと思っておりました。今回は～45年間の歩みと未来～と、題して学科に対する要望事項を教育、研究、就職という3つのテーマで先生方、卒業生のみなさんが、活発に意見を交わされており、大変圧倒されました。また、法人化や学科統合など大学組織の改革も進んでいることにとっても驚き、これからの大学職員は、研究者、教育者としてだけでなく、経営者としての感覚も必要とされていると強く感じました。その中でも最も驚いたのは、僕の在学当時にはあった教育学部がなくなり、まちづくりや文化活動など地域そのものを研究対象とするという地域学部となっていることでした。ここで学んだ卒業生の方々が、地域活性化の中心となって活躍されるのだろうと想像しています。教養課程が廃止され、1年次から多くの専門科目を履修していることも僕の在学中とは大きく変わっている点でした。幅広い専門知識

を早くから身に付けるという点では、良い取り組みではないかと思えます。その他にも、ゆとり教育が大学のカリキュラムにも影響を与えているという話題も大変興味深く拝聴しました。大学側だけでなく学生自身も環境の変化に対応していかないといけない厳しい時代になっているんだなあと感じております。

修士課程の修了から 22 年間、大きく変わっている大学の近況を知ることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。また、大学での研究活動以外に、大学運営にも苦心されている先生方のご様子を拝見し、僕も頑張らねばと改めて気を引き締めました

所属：NTT コミュニケーションズ(株)
先端 IP アーキテクチャセンター

Home Coming Day in Tottori 2011

～鳥大・電電工学科

46 年の歩みと同窓生の集い～

2011 年 11 月 12 日（土）開催

場所：鳥取大学・工学研究科大講義室

第一部：電気電子工学科在学生のための講演会

1. 電気電子工学コース長挨拶（李仕剛 教授）
2. 電気電子同窓会長挨拶（吉田和行 会長）
3. 卒業生から在学生への講演

「大学で在学時に学ぶべきこと」

「社会人として最も重要なこと」

「企業が求める人材」

「就職戦線を勝ち抜くために」

「大学への提言」

- ・山田 恒身（株）IHI
- ・広富 一隆（日本セラミック株）
- ・吉田 健一（シャープ株）
- ・長谷川 弘（セコム山陰株）
- ・田中 章人（株）フィアライト

4. 在学生への講演

「学務委員から学生諸君へのメッセージ」

- ・伊藤 良生（鳥大教授）



第二部 卒業生から学科・学部・大学への提言

1. 電気電子工学科コース長挨拶 (李仕剛教授)
2. 工学部長挨拶 (田中久隆 教授)
3. 電気電子同窓会長挨拶 (吉田和行会長)
4. 卒業生から学科・学部・大学への提言
 - ・教育の現状 (伊藤良生 教授)
 - ・研究の現状 (李 仕剛 教授)
 - ・就職・地域貢献等の現状 (中井生央 教授)
5. 卒業生からの講演
山根 大作 (日本無線株)

第三部 交流会 (名刺交換会)

第四部 懇親会 (カニを食べよう)

場所：マリクラブ (岩美郡岩美町)



◇事業報告・計画◇

● 2010 年度 事業報告

1. 2009 年度卒業・修了生の入会手続き及び会費 5,000 円を徴収しました。
2. 名簿データ管理・修正作業
卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理、修正を行いました。この作業にはパート職員を雇用し、作業の効率化を図りました。
3. 湖鳥会ホームページの更新
電気電子工学科 立木技術職員の協力のもと、湖鳥会ホームページの更新作業を行いました。

● 2011 年度 事業計画

1. 2011 年度理事会の開催
2. 入会手続き・会費徴収作業
2011 年度卒業生の入会手続き及び会費 5,000 円の徴収作業を行う。
3. 名簿データ管理・修正作業
卒業生からの連絡に基づき、名簿データの管理・修正を行う。
4. 工学部との連携
今年度も、工学部同窓会幹事会に湖鳥会より学外幹事および笹岡直人 (学内幹事) が参加し、工学部同窓会の運営を行う。

5. 湖鳥会ホームページの更新

学生アルバイトによる作業の効率化を図る。

6. 会報の発行

2011 年度の会報を発行する。

7. 会費の請求

名簿の発行に際して、2,000 円 × 3 年 = 6,000 円 (名簿発行時に請求) を請求する。

8. 鳥取大学電気電子工学科同窓会～旧友と母校の再会～の開催補助。

◇ 2010 年度決算報告 ◇

◇ 2011 年度予算案 ◇

収入の部 (単位：円)

項目	2010 年度 予算	2010 年度 決算	2011 年度 予算 (案)
同窓会・ 設立基金	0	0	0
入会金	300,000	330,000	300,000
会費 補助	0	92,500 40,192	0
利息	0	88	0
前年度 繰越金	526,279	526,279	345,337
合 計	826,279	989,059	645,337

支出の部 (単位：円)

項目	2010 年度 予算	2010 年度 決算	2011 年度 予算 (案)
設立総会 準備費用	0	0	0
会報発行	300,000	346,634	300,000
名簿発行	0	0	0
名簿管理 アルバイト	20,000	15,000	20,000
雑費	0	3,000	0
学科補助	120,000	150,382	120,000
事務費	150,000	115,200	150,000
会議費	20,000	0	20,000
通信費	10,000	7,910	10,000
慶弔関連	0	3,496	0
その他	0	2,100	0
繰越金	206,179	345,337	25,337
合 計	826,279	989,059	645,337

◇特別会計◇

収入の部 (単位：円)

項目	2010 年度決算
定期預金	1,722,785
利子	539
合計	1,723,324

支出の部 (単位：円)

項目	2010 年度決算
	0
繰越金	1,723,324
合計	1,723,324

◇湖島会役員一覧◇

会長 (1名)

吉田和行 (第4回電気・島根三洋株)

顧問 (1名)

鷺見育亮 (第1回電気・鳥取環境大学)

副会長 (若干名)

川端哲男 (第2回電気・東芝)
安木秀明 (第3回電気・三洋電機)
豆田順一 (第1回電子・日立製作所)

監事 (2名)

松岡良明 (第1回電気)
井上健太郎 (第2回電子・三洋電機)

幹事 (若干名)

加納尚之 (第17回電気・米子高専)
岸田 悟 (第4回電子・鳥取大学)
北川雅彦 (第3回電子・鳥取大学)
田中堅太郎 (第7回電子・三洋電機)
藤村喜久郎 (第14回電子・鳥取大学)
西浦順一 (第15回電子・日本ライツ)
有岡正登 (第17回電子・日本セラミック)
大木 誠 (第18回電気・鳥取大学)
安東孝止 (第3回電気・鳥取大学)
笹岡直人 (第10回電気電子・鳥取大学)

理事 (若干名)

藤井滯士 (第1回電気・近電名古屋サービス株)
松本昭夫 (第2回電気・三菱電機)
奥田和基 (第4回電気・西部電気建設)

山下政美 (第4回電気・リコーマイクロ)
石田義則 (第5回電気・日立製作所)
畑 博道 (第5回電気・自営業)
川上孝志 (第6回電気)
深田哲司 (第6回電気・松下電器)
原田光夫 (第7回電気・三洋電機)
清水 恵 (第9回電気・三菱電機)
宮脇一彦 (第9回電気・三洋電機)
大賀昌二 (第10回電気・日立製作所)
表 則夫 (第13回電気・三洋電機)
岸田達治 (第14回電気・三洋電機)
竹内克徳 (第14回電気・三洋電機)
吉田清春 (第15回電気・三洋電機)
米村幸雄 (第16回電気・リコーITソリューション)
里 友成 (第17回電気・三洋電機)
山方秀則 (第17回電気・三洋電機)
立花慶治 (第18回電気・大学生協)
山根一博 (第18回電気・三洋電機)
原 雅人 (第19回電気・鳥取県庁)
村上 博 (第1回電子・ニッポ電機)
寺谷茂樹 (第3回電子・三洋電機)
栗本保夫 (第5回電子・福田設備設計事務所)
山根幹仁 (第6回電子・三洋電機)
岡本公夫 (第8回電子・竹田電子工業)
河原宏之 (第8回電子・日本電装)
桑田孝明 (第8回電子・日本電気)
岡垣光則 (第9回電子・三洋電機)
原川藤夫 (第10回電子・持田製薬)
三木公保 (第11回電子・三井造船)
椎木正敏 (第12回電子・日立製作所)
西村 晋 (第13回電子・三洋電機)
福島 淳 (第14回電子・日本電気)
村上 誠 (第18回電子・三洋電機)

電子メールアドレス

会長及び学内幹事の電子メールアドレスは以下の通りです。

湖島会へのご意見やこの欄での記事等がありましたらご連絡お願い致します。

氏名	電子メールアドレス
大木 誠	mohki@ele.tottori-u.ac.jp
岸田 悟	kishida@ele.tottori-u.ac.jp
笹岡 直人	sasaoka@ele.tottori-u.ac.jp
ホームページ	http://kocyoukai.ele.tottori-u.ac.jp